

事業団だより

# Harmony

令和6年1月1日に発生した能登半島地震により、亡くなられた方々へ心より冥福をお祈り申し上げます。また、被災された皆様にお見舞い申し上げますとともに、被災地の1日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

2024.1  
VOL. 64  
Harmony



## 中央自動車道談合坂SA入口作品展示ブース

談合坂SA上り:東京方面にもえぎ寮の作品が豪華に展示されています。

1年を通して四季折々の作品を展示しています。皆様ぜひお立ち寄りください。

もえぎ寮 塚本 芳光さん



障害者支援施設

もえぎ寮

アート作品  
「ちぎり絵」



社会福祉法人  
山梨県社会福祉事業団

皆さんは事業団に入社したときを覚えていますか？  
 大学を卒業し、事業団に採用され早いもので16年が経とうとしています。当時は、正規採用が無く、契約職員の採用試験を受け、介護士としてスタートしました。4年間、きぼうの家で介護業務をし、事務局へ異動となり、今に至ります。それまでの間、正規登用試験を受け正規となり、結婚、子どもが産まれるなど生活環境も変わってきました。まだまだ人生折り返しにも行っていないが、あつという間に感じていきます。

事務局 秋山 大志  
 主任 あきやま たいし



「仲間のありがたさと共に」

皆さんは事業団に入社したときを覚えていますか？  
 「初心忘るべからず」という言葉があるように、当時の気持ちはずっと胸の中にあり、忘れてはいけないと思っています。  
 また、賛否両論ありますが「飲みニケーション」の効果があったと思います。お酒が好きな私にとっては、美味しいものを食べ、美味しいお酒を飲むことがリフレッシュにもつながりました。コロナ前は、施設全体での歓迎会や忘年会だけでなく、班や同僚との飲み会があり、仕事の相談やたわいもない話をすることで職員間のコミュニケーションが図れていたことが普段の業務の連携にも繋がっていたと思います。今では、なかなか飲みにも行けないので、挨拶をちゃんとしてコミュニケーションを図りたいです。  
 みなさんのリフレッシュ方法はありますか？それぞれリフレッシュ方法があると思いますので、仕事とプライベートの切替を大事にしていきたいですね。私も美味しいもの、美味しいお酒と家族のために頑張りたいと思います。  
 最後に、16年前と大きく変わった点が一つあります。それは体重増加です。会う人に毎回、「太った？」と言われるので、今年こそ体を絞ります！



年頭の御挨拶



理事長 三井 孝夫

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのことからお慶び申し上げます。  
 感染拡大から既に五年目を迎えるようとしている新型コロナウイルス感染症につきましては、昨年五月、感染症法上の位置付けが五類へと移行し、世間では多くの場面で日常を取り戻すことができていることに心から敬意を表します。  
 また、昨年はコロナ禍にあっても、一部ではあるもの、ご家族や保護者の皆様をお招きしてのお祭りや行事を再開できたことを大変嬉しく思っております。今年も感染状況を見極めながらとはなりますが、こうした交流の機会を一層増やすことができることを願っています。  
 また、事業団におきましても、福祉・介護人材の確保と育成、経営の健全化など、課題が山積しておりますが、職員の皆様との意見交換や情報共有を図りながら、一つひとつ丁寧に、かつ、着実に取り組みを重ねることで、こうした課題の克服や、「利用者本位」「健全経営」「地域貢献」という事業団の基本理念の実現、誰もが安心して長く働ける職場づくりに向けて精一杯努力して参ります。  
 皆様のご理解とご協力をお願いいたします。  
 今年の干支は、「甲辰きのえ・たつ」です。「甲」は、十干(じっかん)の最初であることから、生命や物事の始まりであり、亀の甲羅のように堅い殻を被った、まだ発芽していない種の状態を意味していると言われています。  
 また、「辰」は、想像上の生き物である龍(竜)であり、竜巻や雷を引き起こす大自然の力強さや、成功・伸展を意味していることから、この二つの組み合わせで、「甲辰」は、「積み重ねた努力の種が成功の芽へと成長し、大きく発展していく年」となっています。  
 新しい年が、事業団がより発展する、良い年でありますように、そして、皆様と皆様のご家族様にとっても、幸せな一年、躍進の一年となることを祈念しまして、年頭の挨拶とさせていただきます。



サテライト桃源荘  
 日川地区文化展  
 11月18日に日川公民館で開催された、第35回文化祭へ作品を出展させていただきました。会場には絵手紙、手芸品、陶芸、パッチワークなどたくさんの作品が並んでおり、とても賑やかでした。サテライト桃源荘からは壁掛けのクリスマスツリーや刺し子などを出展しましたが、どの作品もとても好評でした。地域交流の機会も兼ね、今後も作品制作に力を入れていきたいです。



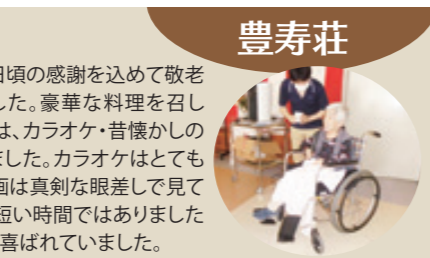
中学生との交流会  
 10月27日に山梨南中学校の生徒25名のみなさんが交流会に来てくださいました。  
 元気な中学生のみなさんの歌声を聞いたり、出題されたクイズに答えたりして楽しい時間を過ごしました。久しぶりの訪問で利用者様もたくさん笑顔で、その様子に職員もつられ、笑顔となる素敵な交流会となりました。



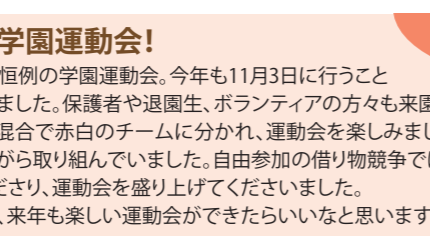
もえぎ寮  
 もえぎ祭り  
 10月7日、爽やかな秋空の下、もえぎ寮一大イベントである「もえぎ祭り」が開催されました。  
 保護者の皆様様が4年ぶりに参加し、短い時間でしたが模擬店やアトラクションを共に楽しむことができました。久しぶりの大きな行事でしたが、招待者・ボランティア・保護者の皆様のご協力のもと、大成功で終わることができました。



祝敬老会  
 豊寿荘では日頃の感謝を込めて敬老会を開催しました。豪華な料理を召し上がり、その後は、カラオケ・昔懐かし映画を堪能しました。カラオケはとて盛り上がり、映画は真剣な眼差しで見られておられました。短い時間ではありましたが皆さんとても喜ばれていました。



秋の学園運動会！  
 毎年恒例の学園運動会。今年も11月3日に行うことができました。保護者や退園生、ボランティアの方々も来園され、賑やかな時間でした。児童と職員混合で赤白のチームに分かれ、運動会を楽しみました。新競技も加わり、ルールを確認しながら取り組んでいました。自由参加の借り物競争では、保護者や退園生も一緒に参加していただき、運動会を盛り上げていただきました。  
 また、来年も楽しい運動会ができればいいなと思います。



明生学園  
 明生学園では、11月10日に「クリスマス会」を開催しました。施設内もクリスマス一色になり、待ちに待ったクリスマス会が開催されました。テーブルには、ピザやフライドチキン、お寿司が並び、皆で美味しくいただきました。また、余興ではマグロの解体ショーやスライドショーが行われ、歓声や拍手が上がりました。楽しいクリスマスになりました。



きぼうの家  
 クリスマス会  
 施設内もクリスマス一色になり、待ちに待ったクリスマス会が開催されました。テーブルには、ピザやフライドチキン、お寿司が並び、皆で美味しくいただきました。また、余興ではマグロの解体ショーやスライドショーが行われ、歓声や拍手が上がりました。楽しいクリスマスになりました。



飾り寿司  
 職人の方が目の前で作ってくれる飾り寿司になります。色とりどりの具材を入れ、どのような模様になるのか皆さん興味津々でした。完成した飾り寿司を見た時は、拍手や歓声が上がっていました。  
 美味しく皆さんでいただきました。



施設行事report

はまなし寮  
 秋の味覚祭  
 はまなし寮では、昨年までの「収穫祭」改め「秋の味覚祭」が10月27日に実施されました。栗おこわ、季節の野菜と秋鮭をふんだんに使った味噌汁、シャインマスカットなど季節の果物、おひたしが提供され、利用者さま皆で秋の味覚を堪能しました。



# 「水曜会(経管利用グループ)」 週1回開催

意思表示が少なかったり、自身で行動がとれない方は、自分で車椅子自走できる人と比べると、活動の場への参加に限られていました。このため、活動の保障をするため、経管グループの方々を中心に、出発したグループ活動です。最近では、経管以外の方の参加も多く、活動されています。会の会長(利用者様)が、開催日には、会の前後で挨拶を行っています。



# 「嚥下体操」 毎日昼食の前に開催

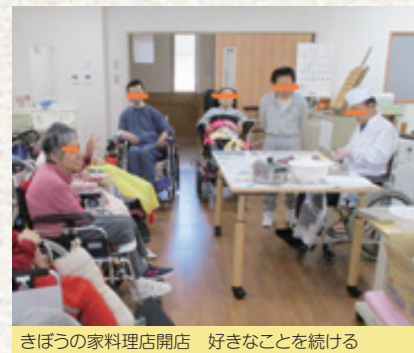
食事を美味しく食べるためにも、誤嚥性肺炎を予防するためにも、嚥下体操は重要な体操です。身近な職員がビデオの被写体となり、嚥下体操を11時から実施し、職員は個々の利用者様のフォローに入っています。



嚥下体操場面

# 「料理」「絵画」の場面

料理や絵画は生きがいになっています。職員はその活動を支援するため、全職員が関わり、生きがいをサポートしています。



きぼうの家料理店 好きなことを続ける



絵画をいつまでも描いていた

# 今後の施設での活動や参加の支援について

ICF(国際生活機能分類)では、活動と参加は重要なキーワードです。コロナ禍で、各施設では活動や参加を制限してきました。ユニットの交流を制限し、感染症の拡大を防いできました。しかし、その中心に利用者様の「想い」はあったのか?私たちは寄り添えてこれたのか?コロナだから、しょうがないと、押し付けていなかったのか?改めて反省しています。

利用者Cさんに聞きました。今一番したいことは「家族と居室で会いたい。自分の部屋でお話したい。」と。私たち職員は、利用者様がどうしていきたくて、想いを確認しながら、活動や参加の支援を進めていきたいと考えます。それがプロフェッショナルの展開に近づけると考えています。

# プロフェッショナル ヨナールワーク

## 専門職の紹介

きぼうの家 参事(作業療法士) 貫井信幸

# 「コグトレ」 月3~4回開催

この活動は、児童精神科医の宮口幸治さんのテキストを基に、認知機能強化トレーニングを実施しています。きぼうの家の入所者様の平均年齢は57.7歳です。10代から80代まで幅広い層の利用者がいます。また、生活介護として、通いのメンバーもいます。「活動」は、楽しみながらステップアップが図れることが重要です。利用者様の中には、しづらいことや、対人関係が取りにくい一面もあります。生活経験が乏しく、集団場面の経験の無い人もいます。



4画面の中から違いを発見する



画面の人の気持ちを参加者が考え発表する

若い通所者様も増える中、日々のプログラムは、メンバーに合わせているのか?一人ひとりの生活の中でのしづらさや対人関係に必要なことに目を向け、プログラムを実施しています。

TVを考えてみましょう。映像が流され受け手は見ることに専念します。刺激が強い反面、「よく見て考える」「想像する」ことは、TV中心の刺激では不向きな一面があります。また、人の表情を読み取ったり、相手の表情から考えることなど、人と接する機会がないと経験もできません。このような経験を、コグトレをとおり、再チャレンジする場として活用しています。

そして、何より職員は、利用者様が、「何につまずいているのか」「どんなヒントが有れば理解できるのか」など、一人ひとりの特性を理解し、日ごろのケアに役立てていけます。例えば、言葉で説明しても理解できない人には、視覚を交えたサポートや、話しかけをゆくり、単文で説明する等、コグトレの影響は職員にも、利用者様にも多く好循環が現れています。

# 「コミュニティカフェ」 月1回開催

このプログラムは、月に1度、利用者様と職員の垣根を取り外し、誰もがメンバーの一員となり、コーヒーを飲みながらゆくりとした時間の中で話し合いを続けています。コロナになる前は、地域の人も交えた、交流の場になっていましたが、コロナ禍では、施設利用している人に限定し進めています。季節の話題を、ゆくりとした時間の中で互いに話をする場は、貴重な時間となっています。



「コグトレ」一人ひとりのまとめ(研修会資料)

毎年リハ職が実施している研修ですが、参加された職員は誰もが、「考える」ことやこれから日常のケアに活かしていく発言が見られます。日常の職員間での確認や、研修等を通して情報を発信することは、リハ職の役割だと思えます。

きぼうの家は、活動を大切にしています。「食事」「排泄」「入浴」を通し、利用者様は安心して日常を過ごせます。このケアと同様に重要な面を「活動」や「参加」として捉えています。今回は、きぼうの家で行われている、リハ職が活動の場を通し支援している実際の報告をします。

# 「きぼうの家百歳体操」 週1回開催

この活動は、高齢者の介護予防からスタートしたもので、高知県の保健所で開発されたツールです。これを障害者支援施設用にアレンジし、活動を進めています。このコンセプトは、「自分でできることは自分で」「仲間と助け合いながら行う」「大きな声を出す」この3点を、日々確認しながら実施しています。



「仲間と協力し合おう」皆さんの前でリーダー役を実践



「きぼうの家百歳体操」「大きな声を出す」画面を見ながら体操に集中?

一部の利用者様は施設に入所していると、他者への依存や自己中心的な見受けられました。このため、「自分でできることは自分で」ことをメインに、体操を実施しています。また、日々の活動に継続して参加するには、他者からの声掛けや他の人の参加を通し「私も参加する」意識も高まってきます。一人では継続が困難でも、多くの仲間と一緒に進める事は強みとなります。コロナ禍で、大きな声を出すのを控えていました。しかし、入所者の入院要因として、誤嚥性肺炎は高くなっています。このため、大きな声を出し、嚥下機能を高める機会として捉えています。



「自分でできることは自分でしよう」鍾(おもり)を自分で外している

写真のように、会場スクリーン前に、利用者がモデルとなり体操を進めています。また、評価票を作成し、5M自走、握力、鍾の数など、数値化し見える化を図っています。

# きぼうの家百歳体操の参加者データの抜粋

きぼうの家百歳体操評価値		令和4年4月		令和3年4月		令和2年4月		令和1年4月	
握力5M自走	鍾	握力	自走	握力	自走	握力	自走	握力	自走
59.5	0	0				1	1	1	0
28.4	0	0				1	1	1	0
33.1	4			6	2	2	2	2	1
126				0	0	1	1	1	0
6.3	20			0	20	4	4	4	3
8.6	10	11		11	10	4	3	3	2
	0	0				1	2	2	1
10.3	8	7		3	1	4	4	4	3
7.4	24			20		4	4	4	3
						2	2	2	0

きぼうの家百歳体操の鍾は、1本200gで片腕1.2kgまでセットできる。各自の体力に応じ本数を決めている。右側の黄色の部分は、前年度より増加した本数を示す。

# きぼうの家



# 障害者支援施設におけるプロフェッショナルの展開

生活の場で行うリハ職の専門性は、食事・排泄・入浴の場はもとより、活動や参加の場面で展開できる支援が必要です。「やりたいこと」や「生きがい」等への支援に結びつけるケアが求められます。

日常生活動作の確認や、シーティング、ポジショニング、車椅子の作製など、個別リハや集団リハなどを通し支援をしていきます。

施設におけるリハ職は、必要な支援を継続できるようにすることが大切です。利用者様に必要な技術や助言をして、継続性が保たなければ価値はありません。

生活の中で活用されなければ、単なるその場限りの支援になります。そのため、リハ職は、利用者様だけでなく職員への情報の発信や共有者を増やすことが求められます。「今、何故必要なのか」を説明し、日常のケアに役立てることです。

「何のために、何をするのか」「誰のために、何をするのか」を、一人ひとりの職員が理解し、「個別支援計画」を実践する必要があります。

シーティングを例に考えましょう。Aさんにシーティングを提供しても、職員が理解し普段からAさんの必要なシーティングを実践しなければ意味がありません。そのため、何故そのシーティングが必要なのか職員が理解し、継続してもらう必要があります。職員は、言われたことをするのはなく、何故そのシーティングをするのかを考え行動されている職員が増えてきました。

Bさんは、起立の練習が必要な人です。ベッドからの移乗、排泄場面の移乗、入浴での移乗と日頃のケアの中で実践できることが多くあります。リハ職だけが立位の練習に関わるのではなく、日ごろ生活の中で、職員も実践することが重要です。

また、三障害合同の施設は、障害の特性や利用者様の個性を理解し、ケアに活かさなくてはなりません。このため、日常のコミュニケーションの他に、必要な情報やケアの仕方等、情報提供する研修が必要です。

# きぼうの家で毎年実施している研修受講者の感想を紹介します。

## 「口腔ケア研修会」

- 食に対する楽しさという感じ方や、口腔ケアを行って行く上でのリラックスしてもらう大切さ等、利用者様の立場を考えケアしていかなければならないと改めて感じた。
- 自分がやっていた口腔ケアが、間違っていた部分もあって見直して良かった。
- もっと嚥下体操に対する意識を全体で上げていきたい。していない、できない人などに付いて一緒にいたり、教えたりしてできるようにしていきたい。

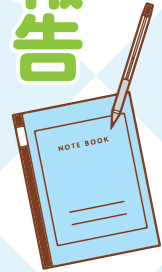
## 「ポジショニングとシーティング研修会」

- ポジショニング・シーティングについて学ぶと、改めて「そうだったか」と気付かされます。初心に戻り、新たな知識を得るためにも今後学ばせていただきたい。利用者様の安楽のために、考える・気付ける・感じられる介護士になりたい。
- 毎日の生活する上で、一番重要な事だと思う。日々、考えながら一人ひとりに合った安楽な姿勢を考えていきたい。
- 目的、意味を理解することが、大切だと改めて学んだ。また、正解がないからこそ、日々、意見交換や工夫、話し合い等が重要だと感じた。

## 「コグトレ研修会」

- 本人の特性を理解し、どんな声掛け(支援)が有効なのか。手掛かりになるので、日常のケアに活かせるようになるよと感じた。個々のストレンスを伸ばす、好きな活動ができる機会を多く提供していきたい。
- 利用者様一人ひとりの特性・性格を知ることができた。また、得意分野や本人の強みを知ることで、支援に繋がると感じた。「考える力」を意識しながら関わりを持ちたい。
- 本人が特化していることは何なのか見極め、日ごろの関りの中で活かしていきたいと思った。本人が育ってきた背景が、直接行動に関わっていることが少なくないと感じた。日常の会話の中や、関わり方を少し変えたり、声掛けの仕方工夫することでコミュニケーションが円滑になると感じた。

# 職員 研修報告



## 中堅職員研修 (I)



桃源荘 介護士  
野武 彩花  
の たけ あやか

今回勤務5年以上が対象になる研修に参加し、同期の方だけでなく他施設で働いている方々も様々なことを討議することができてとても良い経験になりました。私自身、育休明けで他の方々よりも現場に入っていた経験は少ないですが、中堅になるという事で一層視野を広げて仕事をしていかなければならないと思えました。

午後からのグループワークでは「これからの事業団の在り方」に関して、それぞれが事前に考えてきた話を話し合いました。また、他施設の労働環境等の情報を聞くことができてとても参考になりました。

## 中堅職員研修 (II)



もえぎ寮 支援員  
真田 竜太  
さなだ りゅうた

久しぶりの研修でした。オンライン研修ということと少し残念でしたが、ほかの施設の方の元気な顔を見ることができて嬉しかったです。

今回の研修は、今までにない新しい視点で中堅職員としての役割を学ぶことができました。

「数字感覚を磨く」1床、空床があると、どれくらい、本来得られる利益が失うのか。稼働率95%は高い数字だと思っていました。また、さらなる人材不足が予想されます。介護福祉の経営環境も複雑になっており、限られた人材で成果を上げて行かなければなりません。中堅職員として、今までより短い期間で新人職員を育てなければならぬことや求められるスタンスが変わってきていることが分かりました。

中身が濃く、理解するのが難しい研修でした。講師の先生から伝えられたことを自分なりに考え、今後の仕事に活かしていきたいと思いました。

## 新任職員研修「フオローアップ研修」



きぼうの家 介護士  
長田 修一  
おさだ しゅういち

「研修の成果による利用者様支援への期待」

入職前のイメージと実際の状況の違いから生じる焦燥感や不安を感じた経験は誰にでもある事ですが、私は安心して今後も職場環境に適応し、介護福祉士としての使命を果たし、高品質な介護を提供していきたいと感じてきました。

コミュニケーションの大切さと技術の講習も、とても参考になりました。私の職場には信頼できる上司と先輩たちが揃っており、その恩恵を最大限に活かすために、報告、連絡、相談を徹底的に実行していきたい。適切なアドバイスを受けながら、足手まといにならないよう、精進し続けようと思いました。

そして、私の努力の成果をできるだけ多くの利用者様に還元したいと考えています。利用者様の幸福と健康を支えることが私の喜びであり、この研修を通して、これを実現するために全力で取り組んでいく姿勢を再認識できました。

## アンガーマネジメント研修

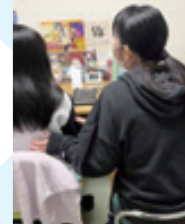


サテライト桃源荘 介護士  
舟久保 好孝  
ふなく ほ よしたか

「温かみのある施設を目指して」

日々、業務をこなしていく中で、感情をコントロールするということと介護士として最も大事な要素の一つだと思いつつ、最も難しく避けては通れない課題だと思っています。アンガーマネジメント研修ということで、怒りの部分があってもビッグアップされたのですが、日々の疲れが苦しみ、悩みなどの様々な要素に起因し怒りという感情が発生します。この要素を払拭することこそ根本的な解決に繋がると思います。仲間、目を配り、異常を察知し、傾聴し、受容し、共感するなど良質なコミュニケーションを図り、怒りの原因を解消することで、安全レベルの高い介護の実践にもつながれると思います。まずは自分が率先して良質なコミュニケーションを実践し、皆に波及させ、利用者様、職員の笑顔が絶えない温かみのある施設にしていきたいと思っています。

## パワーハラスメント防止研修



明生学園 心理療法士  
市川 順子  
いちかわ じゅんこ

パワーハラスメントは理解していましたが、現在はさらに細かくなり、言い回し等にも気を付けていかなくてはならないと実感しました。カスハラは防ぐことが難しいと思います。職員同士の情報共有や、誰かがターゲットにならないようにする。また、自己コントロール力(感情)にならない。相手の挑戦に乗らないも関わってくると感じました。

加害者にも被害者にもならないという視点は重要だと感じます。時代とともにハラスメントも細かく細分化され、表現が難しくなっているという印象を受けました。

## 介護技術研修



はまなし寮 介護士  
河野 淳一  
こうの じゅんいち

人間の自然な動きや基本を理解することで、利用者さんにとって介護者にとっても体の負担軽減に繋がることが改めて思いつくことができました。そして、介護職員の仕事は「利用者さんに元気がなってもらえる」というアドバイスをいただいたので、これからの介助に活かしていきたいです。

## 中堅職員研修 II



豊寿荘 介護士  
小松 拓馬  
こまつ たくま

講義の中で例を交えながら紹介、説明していただき、中堅職員としてどのような能力が求められるのかを、より具体的に理解できたと思います。2時間という設定の中で、少し飛ばし飛ばしな感じもあつたのも、もっと詳しく説明していただきたいなというところもありました。自分の中で、数字力という部分にあまり意識をもっていなかったため、手近なところ例えば普段現場で使っているオムツは一個いくらかなどか

ら、調べてみて、そこから無駄なことを、足りてないことを見つけてあげることができれば、より効率的な仕事をしていくことに繋がっていくことができると思います。

## 介護職員ステップアップ研修 (中級)



サテライト桃源荘 介護士  
井田 憲治  
いだ けんじ

「中堅職員として考えなければいけない事」

今回の研修では人手不足の原因を見極める事の大事さまた中堅クラスの職員が今後どう仕事をしていくのかという考え方を学んだ。人手不足については、人能力が足りないのか、手作業効率性が足りないのかを見極め、人材育成を行う。新人育成についてもその流れや外部研修が大事だと思った。

今後の動き方については、リタイアになる人ももちろんだが、リタイアにならない職員も先輩職員として新人育成や年下のリタイアを育成するようにならないといけないという点は重要だと思った。主任やリタイアと新人を繋ぐ役割も担っていかねばならない。

新人育成やリタイア育成リタイアのやるべきことは今回の研修でも勉強になった。職員の見極めをしっかりおこない、育成やコミュニケーションに活かしていきたい。

## 介護職員ステップアップ研修 (上級)



桃源荘 介護士  
奥脇 一磨  
おくわき かずま

私は、今年度、ユニットのサブリーダーとなり、この介護ステップアップ研修(上級)を受講しました。研修では、あたりの生活について考えるということ、支えがあり、座ることのできるのあればトイレに座らせる。機械浴ではなく個浴で入浴する。日本人は湯船に慣れる習慣があり、機械浴のように横になって上から覗き込まれて入浴する習慣はないとのこと、こうしたあたりまでの生活を支援することの大切さを学びました。

研修で学んだその人らしい生活をサポートできるように、私も自分も積極的に研修等に参加し知識や技術を高め、根拠のある介護を行ってきたいと思っています。また、介護の仕事は一人ではできないので、施設で生活する利用者様と一緒に働く職員を大切に介護士として成長していきたいと思っています。

# 職員直撃! 1対1インタビュー

## Staff Interview

- Q** この仕事のモチベーションは何ですか?
- A** 利用者さんに「ありがとう」と一言もらうだけで頑張ろうという気持ちになれます。また、もえぎ寮では駐車場に着くと利用者さんが笑顔で手を振って出迎えてくれて朝から元気な気持ちになります。
- Q** 好きなスポーツは何ですか?
- A** バasketボールです。プレーするのも観るのも好きですが、コロナ禍になってからはプレーする機会が減って寂しいです。観る方はNBAに日本人選手が2名もいるのでさらに楽しくなりました。2人とも優勝を狙えるチームにいるので頑張りたいです。
- Q** 海外に行くならどこに行きたいですか?
- A** アメリカです。NBA観戦をしたいです。ジャパングームで観戦した事はあるんですが、本場のアメリカで観戦するのが夢です。



もえぎ寮 栄養士  
中村 美菜さん  
なかむら みな

- Q** どうして事業団を選びましたか?
- A** 短大卒業とはまなし寮の開設が一緒に、バイト先の社長が紹介してくれたのがきっかけです。
- Q** この仕事には何が大事だと思いますか?
- A** 学生と社会人でBasketボールをずっとやってきた影響もあるかと思いますが一番大事なのは「チームワーク」だと思います。
- Q** 社会人になってから始めたこと・趣味を教えてください?

もえぎ寮 支援員  
大勝 幸法さん  
おおかつ ゆきのり

Basketball

- Q** 休日の過ごし方は?
- A** 子供も休みの日には公園に行ったりして子供と遊んでいます。それ以外は映画を観たり、家でだらだらと過ごしていることが多いです。
- Q** 好きな映画はありますか?
- A** たくさんあります。ベタですが、スターウォーズ、バックトゥーザ・フューチャー、ショーシャンクの空に、パタフリ・エフェクトなんかが好きです。
- Q** 日頃のストレス解消法はなんですか?
- A** バスケとお酒とカラオケです。最近ではカラオケに全く行けていないので、お酒を飲みながら友達と楽しくカラオケがしたいです。
- Q** 最近買った一番高いものは何ですか?
- A** 車です。以前乗っていた車も手放したくなかったんですが、子供が生まれたことをきっかけに変えることにしました。





**Q** あなたは猫派?犬派?

**A** 猫派です。

**Q** 飼っているペットはいますか?飼おうと思った理由は何ですか?

猫を飼っています。野良猫が子供を産んで親元を離れてしまったのを保護しました。

**Q** 生まれ変わったら何になりたいですか?

**A** 自由に生きる猫になりたいです。

**Q** 一押しのお店はありますか?

**A** 酒折駅前のやみつきクレープヒロシです。

**Q** 最近食べて美味しかったものを教えてください。

**A** 色々ありましたが、やっぱりクレープヒロシのクレープが一番美味しかったです。

**Q** よく行くお店はありますか?

**A** クレープヒロシによく行っています。行った事がない方は是非行って下さい。山梨学院大の近くにありますよ。

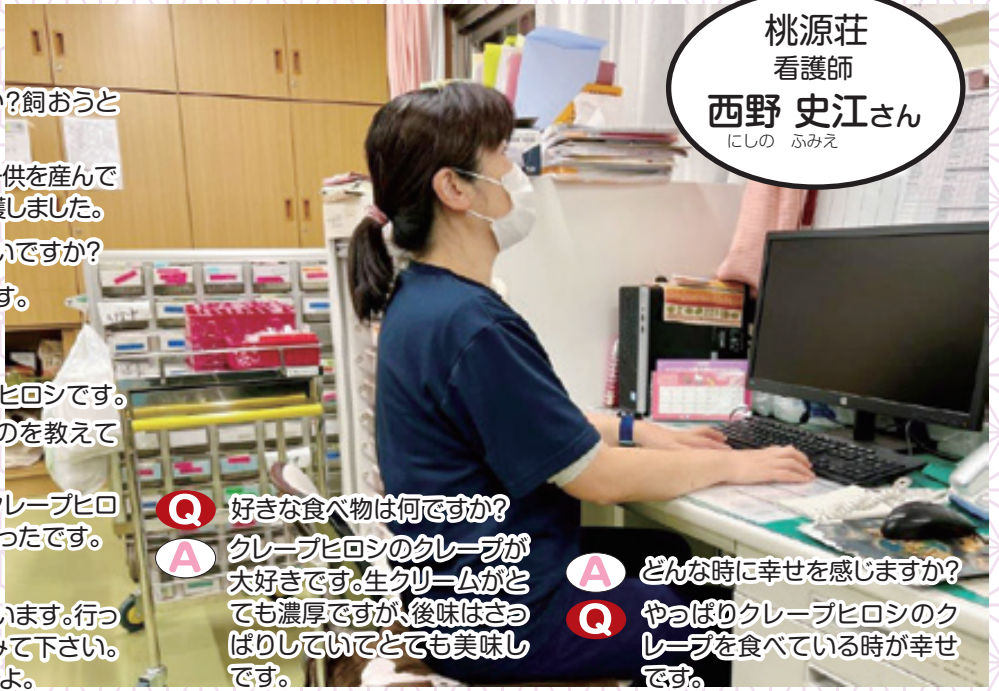
**Q** 好きな食べ物は何ですか?

**A** クレープヒロシのクレープが大好きです。生クリームがとても濃厚ですが、後味はさっぱりしていてとても美味しいです。

**A** どんな時に幸せを感じますか?

**Q** やっぱりクレープヒロシのクレープを食べている時が幸せです。

桃源荘  
看護師  
西野 史江さん  
にしの ふみえ



**Q** 何か資格を持っていますか?

**A** 介護福祉士をもっています。

**Q** 自慢できる持ち物は何ですか?

**A** 車です。特にスバルが好きで、今も愛車はレヴォーグです。

**Q** 好きな食べ物は何ですか?

**A** 蒙古タンメンです。

**Q** 学生時代どんな部活に所属していましたか?

**A** 中、高でバスケットボール部です。

**Q** あなたの趣味は?

**A** PS5でオンラインゲームです。

**Q** お酒は何が好きですか?

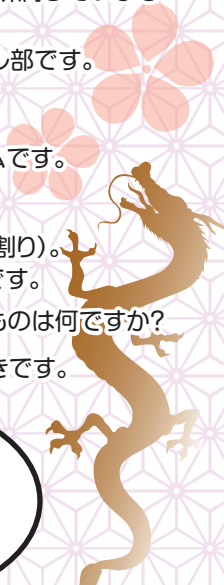
**A** ビールと焼酎(ウーロン割り)。あとハイボールも好きです。

**Q** お酒のつまみで好きなものは何ですか?

**A** 辛い物系とか漬物が好きです。



桃源荘  
介護士  
小林 勲さん  
こばやし いさお



お願い!!一緒に働く仲間を紹介してください。

職員紹介  
報奨金

友人、知人、親族、元同僚、後輩などは是非、ご紹介下さい!

紹介  
してくれた  
職員に支給!

① 正規職員として採用された場合**30,000円**

② フルタイムの契約職員として採用された場合**20,000円**

③ ②以外の契約職員として採用された場合**10,000円**

\*採用日から1か月経過以降も在籍している場合に支給。

募集職種 **介護士**(豊寿荘、桃源荘、サテライト桃源荘、きぼうの家、はまなし寮)

お問合せは、各施設庶務担当 山梨県社会福祉事業団 TEL 055-288-1018  
又は事務局 和田・秋山まで \*職員紹介報奨実施要綱に基づいて支給いたします。

編集後記

2023年は夏が終わっても暑い日が続きましたが、気付けば冬がやってきて、あっという間に年が明けてしまいました。

皆さん、体調等お変わりはありませんか?各施設におかれましても、クリスマスやお正月にちなんだイベントなど、利用者様と一緒に素敵な冬を過ごされたことかと思えます。

寒さや感染症に負けず、充実した冬の季節をお過ごしください。

はまなし寮  
吉井美優

謹賀新年  
今年も広報よろしくお願ひします。  
広報部会員より

職員互助会  
グラウンドゴルフ  
大会



令和5年10月22日(日)に若草総合スポーツ公園で4年ぶりの職員グラウンドゴルフ大会を開催しました!汗ばむほどの良い天気で、職員のご家族にもたくさん参加していただき、とても良い大会になりました。来年も開催しますので、是非、ご参加ください。お待ちしております。